



# はくざんコミュニティ・スクールだより



平成29年9月14日発行 第5号

## 夏休みわくわく講座

夏休みにわくわく講座が10講座開かれ、のべ約260名の児童が参加しました。今年度は子どもが講師の講座が増えて、柔道、イラスト教室、小物作り、いちごジャム作りが開かれました。子どもたちは、どの講座も講師の先生の話をよく聞き、熱心に取り組みました。講師をした6年生の1人は、「初めて先生をして、人に教える方法を学んだ。逆に参加者から学ぶこともあった。」と話してくれました。わくわく学習部会では、今後も子どもの「人に教えてみたい」という気持ちを叶える講座を増やしていきます。



小物作り



ストラップ作り



イラスト教室



キーホルダー作り



柔道



おはなし会



科学実験



いちごジャム作り



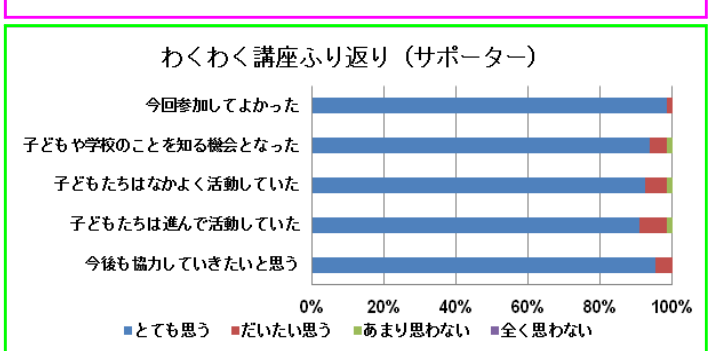
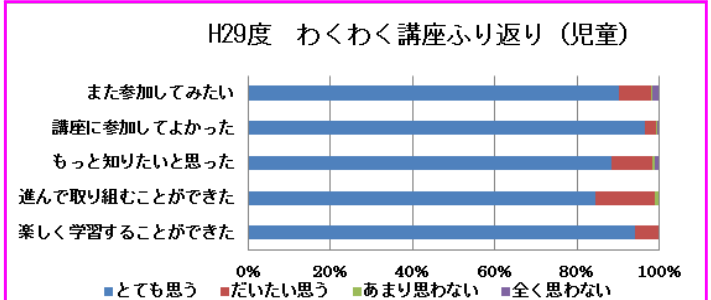
水泳教室



親子木工教室



参加者の絵日記  
 体育館で、大工さん  
 さんと一緒に、すき作り  
 ました。木と木を合わせ  
 ながら、ぎぎぎ、たの  
 打てぎぎぎ、カキ  
 入るの、ぎぎぎ、ま  
 まうので、ま、か、か、た  
 す。でも、大工さんが、ぎ  
 打ち方、ぎぎぎ、教  
 れたので、ぎぎぎ、に、早  
 作の事が、出来ました。  
 ぼくは、ぎぎぎ、の、上、に、自  
 大事、こと、を、書  
 いて、います。



参加者のお礼状  
 やわらかいボールをえき体ち、その中に入れて出し、コン  
 クリートの上に落とすと、ガラスのように大きな音を出し  
 てくれたことが1番びっくりしました。  
 また、身近なものを使って放射線が見える実験も  
 おもしろかったです。放射線はうまく使えば役に立つことが  
 分かりました。楽しい実験をありがとうございました。

# 防災キャンプ

すくすく健康部会では、7月28日～29日におやじの会が中心となり、第4回防災キャンプが行われ、大人と子どもを合わせて100名以上が参加しました。開会式では、おやじの会の佐竹さんより「お互いのことを考えて行動することを心がけて、楽しく防災のことを学んでいきましょう。」とあいさつがありました。

1日目は、まず、プールで着衣泳を行い、溺れている人を見たらどうしたらよいか、自分が溺れたときはどのようにして救助を待ったらよいかを教わりました。次に、体育館でダンボールハウスを作りました。班のみんなで協力し、荷物の収納棚や靴箱を作るなど、それぞれに工夫を凝らしたハウスができました。

夕食は、井戸婦人会、おふくろの会のみなさんが一緒に作ったカレーライスを牛乳パックを再利用したお皿で食べました。夕食後には、井戸婦人会のみなさんと三木音頭を踊ったり、ジュニアリーダーとゲームをしたりして楽しみました。また、ファンタジーのみなさんによる読み聞かせと防災クイズも大いに盛り上がりしました。



着衣泳



ダンボールハウス作り



防災キャンプでは防災について、工夫したり、協力して活動することを学びました。一番学んだことは、着衣水泳です。服を着たまま水の中に入ると重くて泳げないと思いましたが、おしえてもらって、だせうきでかんたんにうくことができるようになりました。家族や友だちに広めようと思います。



カレーライス



読み聞かせ

2日目は、朝食に流しそうめんを食べました。そして、高松市消防局三木消防署のみなさんに、身近にある物を使った応急処置の仕方を教わったり、親子でスモークハウス体験をしたりして、親子で防災の意識を高めました。

閉会式では、子どもたちが、「防災についての体験ができて意識が高まった。」「班のみんなや大人と協力して活動ができて楽しかった。」と感想と感謝の言葉を発表しました。おやじの会からは、「今回学んだことを一つでも生かしてほしい。」と挨拶があり、防災の知識とお互いに助け合って行動することの大切さを学んだ2日間になりました。今回は、2日目の活動に参加者の保護者がほぼ全員参加し、共に活動したことが意義深いことでした。



流しそうめん



スモークハウス体験



閉会式

